

文化経済部会シンポジウム

# 日本の 文化的 未来



武田悠太  
ロクス株式会社代表取締役



岩本涼  
株式会社 TeaRoom 代表取締役兼COO  
茶道裏千家準教授



泉虎吉  
漆副毛師 十世 泉澤吉  
合同会社セブン企画事務所代表社員



廣安ゆきみ  
READYFOR文化部門長



廣田ふみ  
アートプロデューサー  
株式会社イッカク代表取締役



林田堅太郎  
KAMU Kanazawa 館長



泊麻未  
LOCAL ART PROJECT 代表

経済や技術の威勢のいい  
未来談義は、もう聞き飽きた。  
日本の文化的未来を担う  
次世代のリーダーたちに聞く。

Date  
**2026.3.19**

Time  
**18:00-20:00**

Open 17:30

Venue

**SHIBUYA QWS スクランブルホール**



コメンテーター

小池 藍

ベンチャー投資 THE CREATIVE FUND  
創業代表パートナー、文化経済部会委員



ファシリテーター

吉見 俊哉

國學院大学教授、文化経済部会会長

主催



協力

SHIBUYA QWS (渋谷スクランブルスクエア株式会社)

## 「日本の文化的未来」

経済や技術の威勢のいい未来談義は、もう聞き飽きた。もちろん、AIは未来経済を主導するだろう。世界中がそう思って開発競争にしゃかりきだ。そうやって、すべての情報処理が超高速にスピードアップしていくことになる。すると、私たちの生活や文化は置いてきぼりだ。つまり、そのような高速AI社会からは、私たち自身がキャンセルされかねないということだ。

思い出してもらいたい。私たちの社会、そして日々の生活の豊かさの基盤は、文化とそのような文化を生み出し、味わう感受性や想像力にこそある。それこそが、私たちの社会、つまり日本が長い時間をかけて育ててきたかけがえない基盤なのだ。だから、日本の未来は、経済や技術の未来である以前に、文化の未来でなければならないはずである。経済や技術は、そのような未来を実現するために不可欠の手段として位置づけ直されなければならない。

文化庁・文化審議会文化経済部会が主催する第3回のシンポジウムは、まさにその日本の文化的未来を担う次世代のリーダーたちに一堂に会していただく。

吉見 俊哉 | 文化経済部会部会長

## タイムテーブル (予定)

17:30 開場

18:00 開会

18:05 趣旨説明 吉見俊哉

18:10 登壇者プレゼンテーション

泉虎吉 / 岩本涼 / 武田悠太 / 泊麻未 / 林田堅太郎 / 廣田ふみ / 廣安ゆきみ

19:20 パネルディスカッション

- 登壇者: 泉虎吉 / 岩本涼 / 武田悠太 / 泊麻未 / 林田堅太郎 / 廣田ふみ / 廣安ゆきみ
- コメンテーター: 小池藍
- ファシリテーター: 吉見俊哉

20:00 閉会

## 文化審議会文化経済部会

文化審議会令(平成12年6月7日政令第281号)第6条第1項及び文化審議会運営規則(平成23年6月1日文化審議会決定)第4条第1項の規定に基づき、文化審議会に文化経済部会を設置し、我が国の文化と経済の好循環に資する事項について調査審議を行う。

[https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/bunka\\_keizai/](https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/bunka_keizai/)



## お問合せ

事務局(運営委託):

PwCコンサルティング合同会社

E-mail: [jp\\_cons\\_bunka@pwc.com](mailto:jp_cons_bunka@pwc.com)

## プロフィール



吉見 俊哉 | 國學院大学教授、文化経済部会部会長

社会学者。上演論的アプローチから都市論、メディア論を展開、日本のカルチュラル・スタディーズで中心的な役割を果たしてきた。最新の著書は『自己との対話 —— 社会学者、じぶんのAIと戦う』(集英社新書)。



小池 藍 | ベンチャー投資 THE CREATIVE FUND 創業代表パートナー、文化経済部会委員

国内外のプライベートエクイティ投資会社にてLBO投資、ベンチャー投資に従事のち、2020年に独立、ベンチャー投資ファンドのTHE CREATIVE FUND, LLPを創業。同時に、現代アートの知見を深めることとコレクション、普及に努める。



泉 虎吉 | 漆刷毛師 十世 泉清吉 / 合同会社セン企画事務所 代表社員

1656年の創業から漆刷毛づくりを代々営む。父・九世 泉清吉(選定保存技術『漆刷毛製作』保持者・旭日双光章 受章)の元で、幼少時より修行を積む。江戸の伝統技法を世界でただひとり受け継ぎ、十世 泉清吉として腕を磨きながら、日本文化における新しいエコシステムの構築にも取り組む。



岩本 涼 | 株式会社 TeaRoom 代表取締役 CEO・茶道裏千家準教授

1997年千葉県生まれ。2018年「対立のない優しい世界を目指して」を理念に、文化と産業を架橋すべく株式会社TeaRoomを創業。幼少期より茶道裏千家に入門し、茶道家としても活動する。また、静岡県本山地域の日本茶工場を承継し、一次産業へも参入するほか、茶の湯や日本文化の価値や思想に根ざした取り組みも行なっている。株式会社中川政七商店にて社外取締役も務める。



武田 悠太 | ログズ株式会社代表取締役

2016年にログズ株式会社を設立。PARCEL(アートギャラリー)、EASTEAST\_(アートフェア)、alter.(プロダクトデザインイベント)を主宰するとともに、ファッション、ホテル、レストラン、10代向け教育など複数分野で事業を展開する。



泊 麻未 | LOCAL ART PROJECT 代表

元大分市地域おこし協力隊。現在は過疎地域のアートプロジェクトやアウトリーチのコーディネートに取り組む。旧校舍アトリエを拠点に福祉・教育・住民などの間に対話や協働が生まれる仕組みづくりを実践中。



林田 堅太郎 | KAMU kanazawa 館長

1987年福岡県生まれ。2020年金沢に私設現代アート美術館KAMU kanazawaを開館。「アートは世界を見る窓」を理念に作品の収集公開を行う。街中に複数展示室を設け、美術鑑賞と街歩きを楽しめる分散型のアート館を仕掛けている。



廣田 ふみ | アートプロデューサー/株式会社イックク代表取締役

これまでにIAMAS、YCAM、シビック・クリエイティブ・ベース 東京 [CCBT] でメディアアート等に関するプロジェクトを企画するほか、文化庁や国際交流基金アジアセンターにてメディア芸術やメディア文化の事業を担当。2025年より現職。



廣安 ゆきみ | READYFOR文化部門長

東京大学文学部(美学芸術学専修)を卒業後、出版社で歴史雑誌の編集者を経験し、2016年にREADYFORへ。現在は、クラウドファンディングにとどまらず広くファンドレイジングのサポートを行う部門に所属。文化財、美術館・博物館など「文化・芸術分野」の施設・団体のサポートを行う。

# 日本の文化的未来

文化経済部会シンポジウム



廣安 ゆきひろ  
READYFOR 文化部長官  
特別顧問



廣田 ふみひろ  
アートプロデューサー  
株式会社イックク代表取締役



林田 堅太郎  
KAMU Kanazawa 館長



泊 麻未  
LOCAL ART PROJECT 代表



武田 悠太  
ロンズ株式会社代表取締役



岩本 涼  
株式会社「TabRoom」代表取締役 CEO  
茶道裏千家準教授



泉 虎吉  
漆刷毛師 十世 泉清吉  
合同会社セン企画事務所代表社員

Date 2026.3.19 Time 18:00-20:00 Open 17:30

Venue SHIBUYA QWS スクランブルホール



コメンテーター

小池 藍

ベンチャー投資 THE CREATIVE FUND  
創業代表パートナー、文化経済部会委員



ファシリテーター

吉見 俊哉

國學院大学教授、文化経済部会部会長

主催



協力

SHIBUYA QWS (渋谷スクランブルスクエア株式会社)